

★ 第 135 回 日本社会分析学会例会／第 45 回山口地域社会学会例会プログラム ★

日程：2018 年 7 月 28 日（土）～7 月 29 日（日）

会場：山口県セミナーパーク

報告会場：研修室 101（28 日）、研修室 102（29 日）

（〒754-0893 山口県山口市秋穂二島 1062）（URL <http://www.hito21.jp/seminarpark/>）

※持ち時間は S の場合 30 分（報告 20 分：質疑 10 分）、L の場合 60 分（報告 30 分：質疑 30 分）が標準です。レジュメや資料は 35 部程度ご準備ください。報告にてプロジェクターが使えます。

7 月 28 日（土）

日本社会分析学会理事会 11:10～12:00（研修室 207）、山口地域社会学会総会 11:30～（研修室 101）

開 会 12:10

自由報告部会 I・第 45 回山口地域社会学会例会(12:10～13:45)（研修室 101）

1. 「中国における個人情報保護の立法の動向——個人尊厳と公共性との協調の視点から」 (S)
周 小稚（山口大学大学院）
 2. 「台湾のオルタナティブスクールに関する公設民営モデルの分析」 (S)
王 美玲（淡江大学）
 3. 「内藤莞爾の社会学その 2——村落調査から末子相続研究へ」 (S)
三浦 典子（山口大学名誉教授）
- =Coffee Break (5 分) =

自由報告部会 II (13:50～15:20)

1. 「現代中国都市の地域社会——青島の事例」 (S)
佐々木 衛（神戸大学名誉教授）
 2. 「北九州市のフィリピン人の社会的ネットワーク」 (S)
津村 江美（北九州市立大学大学院）
 3. 「朝鮮半島系巫俗の受容——日本人信者に注目して」 (S)
吉田 全宏（大阪市立大学大学院）
- =Coffee Break (5 分) =

自由報告部会 II (15:25～17:25)

1. 「自己家畜化と若者の変化」 (S)
松本 悠祐（山口大学大学院）
2. 「自己組織性と圏論」 (S)
大山 智徳（広島郵便局）
3. 「社会人基礎力と『社会人基盤力』の関連——社会科学系大学生のキャリア形成」 (S)
佐々木 武夫（西南学院大学）
4. 「地域における障害児親の会の活動実践が意味するもの」 (S)
山下 亜紀子（九州大学）

総会（17:25～18:15）

懇親会（18:30～20:00）セミナーパーク内食堂（会費：有職者 5000 円、有職者以外 3000 円）

※食堂は 20 時までの利用となります。その後は食堂前ラウンジ（飲食可）が 22 時半まで使用可能です。

7 月 29 日（日）

自由報告部会 III (9:30～12:35) 研修室 102（※初日とは会場が変わります）

1. 「社会的就労支援事業に対する住民の意識」 (S)
稲月 正（北九州市立大学）
 2. 「オーディエンスのライフヒストリーとメディアサービス価値に関する考察」 (L)
須藤 修司（北陸先端科学技術大学院大学）・伊藤 泰信（北陸先端科学技術大学院大学）
- =Coffee Break (5 分) =
3. 「『コミュニティカフェ』活動による地域社会の関係性形成の現状と課題——福岡市東区の事例から」 (S)
李 妮洳（九州大学大学院）
 4. 「山間地の日常型移動の変化——中津江村 1996—2016 年」 (S)
加来 和典（下関市立大学）
 5. 「『高出生率地域』における子育てネットワーク——徳之島・伊仙町を事例として」 (S)
益田 仁（中村学園大学）

閉会 12:35